

【Inter BEE 2014】9社によるラインアレイスピーカーの競演が実現！ イベントホールを貸し切って国内初の試聴会！ 世界的にも貴重なイベントが 11月20日に幕張で開催

2014.10.16 UP



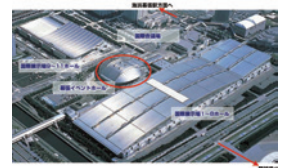
11月19日から21日までの3日間、幕張メッセ(千葉市美浜区)で開催する音と映像と通信のプロフェッショナル展「Inter BEE 2014」は、今年で第50回の開催となる。今年のInter BEEは、これを記念し、さまざまな特別イベントを実施する。その一環として、11月20日に「Inter BEE EXPERIENCE」と題したイベントが、幕張メッセイベントホールで開催される。

二部に分かれ、第一部では、ラインアレイスピーカーの体験デモを、第二部は、展示会閉館後、第50回開催の感謝の集いとして、アニバーサリー・ライブパーティーを開催。コンテンツクリエイター集団「ライゾマティクス」による、「ライブ・エンターテインメント」も実施する。

このたび、ラインアレイスピーカー体験デモに出展する9社、9製品のラインアップとデモのスケジュールが発表になった。

■ラインアレイスピーカー体験デモ

コンサートや大型イベント等で利用されるラインアレイスピーカーは、これまでもInter BEEで展示されていたが、ブースにおける音量規制などにより、十分な音量でデモをすることができなかった。今回、展示会場に隣接しながら別棟であるイベントホールを用いることで、実際の使用環境に近い空間におけるセッティングで体験できる。こうした環境でのラインアレイスピーカーの視聴デモは国内でも初の試みだ



ビズ・クロコのサウンドデザイナー 大内健司氏



ビズ・クロコのサウンドデザイナー 大内健司氏

【各社の製品の特長】

10:30-11:00

d&b audiotechnik Y-Series

オタリテック株式会社

d&b の新製品 Y シリーズは、柔軟な水平指向特性と革新的なカスタムウェーブガイド機能を装備した回転ホーンが幅広い帯域で均等な指向性を約束します。双極式にドライバーを配置したことにより正確な指向性コントロールを実現するとともに、バスレフレックス設計によって深い低域パフォーマンスが達成されています。アレイ可能なキャビネットにはカーディオイドサブウーファーであっても 3 ポイントリギングシステムが統合されています。これらに加えてグラウンドスタックも可能であり多様な設置方法が可能となっています。

11:10-11:40

TOA compact array speaker HX-7

TOA 株式会社

TOA の新製品コンパクトアレイスピーカー HX-7 は、4 モジュール一体のラインアレイスピーカーという TOA 独自の構造を持ち、単体使用でもフレキシブルに角度調整を行う事が可能です。1 モジュールに 5.5 インチウーハー 2 基、1.4 インチコンプレッションドライバーと TOA 独自の波面制御スロートを採用。従来モデルの HX-5 より圧倒的なドライブ能力を誇ります。イベントから中規模アリーナまで幅広くインストールが可能なスピーカーシステムです。

11:50-12:20

JBL PROFESSIONAL VTX-V20

ヒビノ株式会社

VTX-V20 は、JBL PROFESSIONAL ラインアレイスピーカーの最上位シリーズ「VTXSeries」の最新モデル。10 インチ x2 個のウーファーを搭載したコンパクトな 3-Way で、これまでの水準を超える圧倒的な音圧を出力します。歪率特性や指向制御にも優れ、最小限のキャビネット容積で所定のエリアに必要な音圧を届けることができます。高域には比類ない再現力を備えた新開発 D2 デュアルコンプレッションドライバーを搭載。最上級の音響品質を必要とする中規模の会場に最適なスピーカーです。

12:30-13:00

Meyer Sound MINA

株式会社エイ・ティー・エル

Meyer Sound 製品の特徴・共通コンセプトは「ニュートラル」。セルフパワーシステム採用により「省電力」・「省スペース」・「システムの増減 / 組合せが容易」となっています。MINA はラインアレイ製品シリーズ最小モデル。3 inch ドライバー + REM / 6.5inch コーンドライバー x2,975W 3ch デジタルパワーアンプを搭載。2WaySystem、クロスオーバーフィルター周波数が 760Hz、128dB SPL。今回のデモでは、サブウーハシステムとして 500-HPx2 台を片側に使用しバックキャンセレーションを行います。

13:30-14:00

EAW Anya System

音響特機株式会社

EAW の新たなフラッグシップモデル『Anya』は、従来のラインアレイスピーカーの先を行く、革新的なスピーカーシステムです。垂直に吊られた『Anya』モジュールは Adaptive Performance? テクノロジーにより、その特性をユーザーが定義した条件に基づいて最適化し、カバーエリア内はどの場所でも一貫した音圧、音質を実現します。これは『Anya』が、あらゆる条件下で最適なパフォーマンスを発揮するスピーカーシステムである事を意味します。

=====

14:10-14:40

MARTIN AUDIO MLA multi cellular loudspeaker array

株式会社 Martin Audio Japan

数々のフェスティバルやコンサートツアーで使用され、最近大きな話題の MLA システム。これまでにない画期的な最適化ソフトウェアとマルチセルラー制御を組み合わせることによって、会場の隅々まで大変均一な音圧と音質を実現。ディレイスピーカーが要らない、会場の反射を抑制できる、近隣騒音問題に対応できるなど、これまでのスピーカーシステムでは不可能だったことにアプローチできる次世代のシステムです。

=====

14:50-15:20

NEXO STM series

株式会社ヤマハミュージックジャパン

NEXO STM の “Scale Through Modularity” コンセプトは、様々なサイズのシステムをたった 4 種類のモジュールで構築することを可能にし、1 つのシステムが持つ汎用性のレベルを新たな次元に上げました。アプリケーションの規模の大小に関わらず、これまでのシステムを大きく上回るサウンドクオリティとスケーラビリティを実現します。STM はシステムの保管から輸送、設置、運用まで、これまでのシステムにない高品位かつ高効率なソリューションを提供します。

=====

15:30-16:00

L-ACOUSTICS K2 System

ベステックオーディオ株式会社

L-ACOUSTICS の K2 システムは、業界に「ラインアレイ」というカテゴリーを標準化させた V-DOSC の後継機種。吊荷重の条件が厳しい場合でも有利な重量 56kg。完璧な指向性制御により、反射や騒音の問題に対応しています（垂直方向は WST ラインソースで、水平方向は PANFLEX により物理的に指向性のコントロールが可能）。SOUNDVISION により、音場の予測が可能となっています。K2 システムは、2014 年ソチで開催された冬季オリンピックの式典で使用されました。

=====

16:10-16:40

CODA AUDIO LA12 3-Way ラインアレイモジュール

ヒビノインターサウンド株式会社

LA12 は独自のドライバーを中高域に搭載し、大規模現場に対応するパワーと歪の無いクリアなサウンドを再現します。SC8 サブウーファーは、フィードバック制御により正確に原音を再現し、マスク効果や群遅延の抑制を実現。更に SC3 ベースエクステンションは明瞭な低域を再現し、同時に全帯域で明瞭度の高いサウンドを LINUS リニアフェイズシステムと共にサポートします。

=====

■アニバーサリー・ライブパーティー

第 50 回開催アニバーサリーのイベントは、「映像・音響・照明・パフォーマンス」を融合した日本発・世界発信の「ライブ・エンターテインメント」を開催する。

国内外から注目を集めるコンテンツクリエイター集団『ライゾマティクス』との共同制作により、日本のクリエイティブパワーを世界に向けて発信する。

Inter BEE では、来年以降、ライブ・エンターテインメントのアワード化を目指していくという。

第一部、第二部ともに、参加無料。

【Inter BEE EXPERIENCE 開催概要】

■名 称：Inter BEE 第 50 回開催記念イベント「Inter BEE EXPERIENCE」

■会 期：2014年11月20日（木）

■会 場：幕張メッセ イベントホール

■第 一 部：ラインアレイスピーカー体験デモ（10:30-16:40）

後援：一般社団法人日本舞台音響家協会、日本舞台音響事業協同組合

■第 二 部：アニバーサリー・ライブパーティー（17:40-19:40）

共同企画・制作：株式会社ライゾマティクス

ライブパーティー協賛：ZIMA

■協 賛：ソニー、ヤマハミュージックジャパン

関連 URL